

Junko Kikuchi with Unit

Profile

2005年菊地純子を中心にコンテンポラリーダンスユニットを結成。

【公演実績】

2005年「踊る洋服達」(原宿ASTRO HALL)
2007年「Scene Space →Focus」(神楽坂セッションハウス)
2009年「How Many Days →How Many Nights →」(神楽坂セッションハウス)
2010年「Bench」(日暮里サニーホール)
2011年「Bench」(福井市文化会館)

菊地純子 Kikuchi Junko

1955年より小澤洵子に、以降、可西希代子、厚木凡人に師事。

1976年渡米。
ジョフリーバレエ、ニコライダンススタジオ、マース・カニングハムスタジオ等。
NYでの公演が認められ、NYタイムズ・ヴォイス等各方面から賞賛を受ける。
ヨーロッパ・アジア・日本と精力的に活動。
1994年より「夏木マリ印象派」にムーブメントとして参加。
現在、J'sスタジオ、菊地純子with Unit 主宰。
成城大学非常勤講師。

【主な受賞歴】

1970年東京新聞年間ベスト10
1971年第1回現代舞踊協会新人賞
1972年日本批評家協会賞
1985年日本批評家協会賞

幼少の頃、体が丈夫になるから(やや弱かった)というごく月並みの理由で
近所のスタジオでダンスを始める。なんとなくの向上心を持ちながら続ける。
やめることは考えた事が無いことを思えば、好きであることに間違いは無かった。
いろんな賞も頂き、恵まれたステージで踊る。
ある時期、今までのダンス界に息苦しさを感じていた。
その時、踊りたいと思うダンスに出会う。
頑張った、ひたすら頑張った。いい時間を持てた。
いい思い出を作れたと今も思う。
それは私の中に確実に残っていて、時に合わせ、形を変えてくるものとなっている。
その後、渡米。そこでの公演が大きな評価を受け、いろいろ南国で活動した。
これまたごく普通の理由で帰国。娘を出産。
踊りは続ける。踊る事、創る事がごく普通の私の出来事になり始める。
確実になっている。どんどんそうなる。
そして、今、この時、この場で踊っている。
私は、本当に楽しみながら、作品づくりをしています。
リハーサルという、勿論楽しいこの素晴らしい人との出会いが、
創ることであり、作品なのかもなどと考えています。



Junko Kikuchi

縫原弘子 Nuihara Hiroko

福井市出身。幼少より坪田律子氏にバレエを習う。
大阪芸術大学舞台芸術学科卒業。
1989年～1991年スターダンサーズ・バレエ団の公演に参加。
1995年～2001年「Pappa TARAHUMARA」の活動に参加。
退団後も主要な作品の演出助手を勤めたり、海外公演に出演している。
(2002年ベネチアビエンナーレ、2003年国際セルヴァンテスフェスティバル、
2006年A World Dance in Ottawa、2007年BAM・・・他)
2002年よりソロ活動開始。
2005年菊地純子に出会う。菊地純子 with Unit トータルアシスタント。
NUI DANCE CLASS主宰。

松本大樹 Matsumoto Taiju

多摩美術大学芸術学科卒業。
1998年ラバン・センター・ロンドンにてディプロマ取得後、
同研究所所属トランジションズ・ダンス・カンパニー入団。
1999年香港に渡る。
また帰国後は、数々の舞台作品に出演。
振付家としても多くの自作品を発表し、若手育成にも力を注いでいる。
2009年度、文化庁在外研修員として渡米。
東洋大学非常勤講師。

木下ココ Kinoshita Coco

集英社PINKYの専属モデルを経て、現在は「美人百花」「グラマラス」「MAQUIA」
「スウィート」をはじめ、多くのファッション誌で活動している。
Girls collectionに出演。
CM花王「プリティア」、Web CM「SMIRNOFF ひと味違う飲み会」にも出演中。
ダンスは見ることも踊ることも大好き。

小澤玲香 Ozawa Reika

7歳より大川悦子モダンダンス研究所にて学ぶ。
2002年桜美林大学総合文化学科に入学。
木佐貫邦子の指導のもとコンテンポラリーダンスにのめり込んでいく。
その後、菊地純子with Unitの作品に参加するチャンスに廻り合い
多くを学びながら、現在に至る。

U2 Yuni

日本大学文理学部英文文学科卒業。
大学時代にブレイクダンスと出会い、ダンスを始める。
数多くの受賞経験をもつ。
卒業後、渡米。
ロサンゼルスにあるDebbie Reynolds Studio、MILLENNIUMにてNICK BASS、
PHLEXなどに師事し、HIPHOPを中心に様々なダンスを学ぶ。
ダンス講師としても活動。
帰国後もダンサーとしての活動だけでなく、後輩の育成にも力を入れている。
常にダンスへの情熱を絶やさず、新しいことに挑戦し続ける。

開桂子 Hiraki Keiko

望月辰夫に師事し、ジュリアード音楽院教授平林和子にグラハムテクニック・創作法を学ぶ。
望月ダンスカンパニー、ダンステアトロ21を経て現在フリー。
片岡康子・中野真紀子・中島素子・中村恵恵等の数多くの作品に出演。
パパ・タラフマラ、25ダンスカンパニー、タンダバハ・ダンスカンパニー等海外公演多数。
又、暇を見つけて仲間を集め、自主公演を展開。「Passage」「れもん」等。
今回の出演で、菊地純子の影響を受け、創ることの楽しさを実感している。



Photo by Yasuda Kei

